

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和7年1月20日(2025.1.20)

【公開番号】特開2024-170715(P2024-170715A)

【公開日】令和6年12月11日(2024.12.11)

【年通号数】公開公報(特許)2024-232

【出願番号】特願2023-87385(P2023-87385)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

A 6 3 F 7/02 3 3 3 A

【手続補正書】

【提出日】令和7年1月9日(2025.1.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

所定事象の発生に基づいて所定の遊技価値を付与可能な遊技機であって、

遊技球が入球可能又は入球しやすい第1態様と、遊技球が入球不可又は前記第1態様よりも入球しにくい第2態様とに切り替わり可能な可変入球手段と、

前記可変入球手段を前記第2態様から前記第1態様とし、その後、前記第2態様とする切替制御が少なくとも1回行われ得る特別遊技を実行することが可能な手段と、

を備え、

30

前記所定事象は、前記可変入球手段への遊技球の入球を含み、

所定の移行条件が成立した場合に特定状態に移行させることが可能な手段を備え、

前記特定状態では所定遊技の進行が制限されるように構成されており、

前記可変入球手段が前記第1態様である状況で上限数目的遊技球が前記可変入球手段に入球した場合に前記可変入球手段を前記第2態様に切り替えることが可能であり、

前記上限数目を超える前記可変入球手段への遊技球の入球が生じた場合に、超えた分の入球に対応する前記所定の遊技価値が付与され得るようになっており、

前記特定状態への移行より前の所定状況にて遊技演出に関する所定制限が行われることを可能とする所定手段を備えていることを特徴とする遊技機。

【請求項2】

40

所定の取得条件が成立したことに基づいて判定用情報を取得する情報取得手段と、

前記情報取得手段の取得した判定用情報を記憶可能な取得情報記憶手段と、

前記取得情報記憶手段に記憶された判定用情報により特定判定を実行する手段と、

前記特定判定が行われることに基づいて遊技回用動作が開始され、前記特定判定の結果に対応した報知結果とされるようにして、遊技回が行われるように制御する手段と、

前記情報取得手段により取得された所定の判定用情報について当該所定の判定用情報が前記特定判定の対象となった場合における判定結果に対応する情報を、その判定用情報が前記特定判定の対象となるよりも前のタイミングにおいて特定する先特定手段と、

前記先特定手段の特定結果に基づいて特定報知を実行することが可能な手段と、

を備え、

50

前記所定制限は前記特定報知の実行を制限するものであることを特徴とする請求項1に記載の遊技機。

【請求項3】

所定契機の成立に応じて所定情報を更新可能な手段を備え、

前記所定情報の更新結果が特定結果になった場合に前記特定状態への移行が実行され得るように構成されており、

前記所定手段は、前記所定情報の更新結果が前記特定結果となるより前の所定状況で前記所定制限が行われることを可能とするものであり、

前記所定状況は、前記特定結果までの前記所定情報の更新の残り分が、前記特別遊技での前記可変入球手段への入球期待数に対応する前記所定情報の更新分より多い状況であることを特徴とする請求項1に記載の遊技機。

10

【請求項4】

前記特別遊技より後の状態を示唆することが可能な所定報知が前記特別遊技の実行中に行われることを可能とする手段を備え、

前記所定制限は、前記所定報知の実行を制限するものであることを特徴とする請求項1に記載の遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【0006】

本発明は、

所定事象の発生に基づいて所定の遊技価値を付与可能な遊技機であって、

遊技球が入球可能又は入球しやすい第1態様と、遊技球が入球不可又は前記第1態様よりも入球しにくい第2態様とに切り替わり可能な可変入球手段と、

前記可変入球手段を前記第2態様から前記第1態様とし、その後、前記第2態様とする切替制御が少なくとも1回行われ得る特別遊技を実行することが可能な手段と、

を備え、

前記所定事象は、前記可変入球手段への遊技球の入球を含み、

30

所定の移行条件が成立した場合に特定状態に移行させることが可能な手段を備え、

前記特定状態では所定遊技の進行が制限されるように構成されており、

前記可変入球手段が前記第1態様である状況で上限数目的遊技球が前記可変入球手段に入球した場合に前記可変入球手段を前記第2態様に切り替えることが可能であり、

前記上限数目を超える前記可変入球手段への遊技球の入球が生じた場合に、超えた分の入球に対応する前記所定の遊技価値が付与され得るようになっており、

前記特定状態への移行より前の所定状況にて遊技演出に関する所定制限が行われることを可能とする所定手段を備えていることを特徴とする。

40

40

50